

中島ゆみ子と仲間たち Vol.11

音楽のみなもと～声楽とともに



中島ゆみ子
Yumiko Nakajima
(ヴァイオリン)



(バス)
藪内 俊弥
Toshiya Yabuuchi



エリック・ウィリアムス
Erik Williams
(チェロ)



白木 麻弥
Maya Usuki
(ヴィオラ)



依田 泰幸
Yasuyuki Yoda
(トランペット)



望月ゆり子
Yuriko Mochizuki
(ヴァイオリン)



小林 牧子
Makiko Kobayashi
(オルガン)



郡司 博
Hiroshi Gunji
(指揮)

東京オラトリオ研究会
Tokyo Oratorio Society(合唱)

2016 2/28 [日]

開場 6時40分 開演 7時

東京文化会館小ホール 上野駅公園口前

全自由席 前売：3,500円 当日 4,000円／

学生：2,500円

学生券のお取り扱いは前売りのみ

- 主催 コリーナ・ヴェルデ・アンサンブル
- 後援・チケット販売
認定 NPO 法人おんがくの共同作業場
TEL 042-522-3943 <http://gmaweb.net/npo/>
東京ニューシティ管弦楽団
チケットダイヤル TEL 03-5933-3266
- チケット販売
東京文化会館チケットサービス
TEL 03-5685-0650
- 後援 スウェーデン大使館

Program

■モーツァルト：ディヴェルティメントより KV.563
Mozart:divertimento in Es dur for violin, viola and cello

■ヘンデル＝ハルヴォルセン：パッサカリア
Händel=Halvorsen:Passacaglia

■J.S.バッハ：マタイ受難曲より
イエスを私に返せ！ Gebt mir meinen Jesum
来たれ 甘美なる十字架 Komm,süßes Kreuz
わが心よ みずからを清めよう Mache dich,mein Herze,rein

■ヘンデル：メサイアより
ラッパが響くとき、死者は永遠に朽ちぬ The trumpet shall sound

■J.S.バッハ：カンタータ BWV.147より
主よ人の望みの喜びよ Choral Jesus bleibet meine Freide

■モーツァルト：モテット K.618
アヴェ・ヴェルム・コルプス Ave verum corpus

※曲目、出演者は変更になる場合があります



中島ゆみ子 Yumiko Nakajima (ヴァイオリン)

上尾市在住。4歳からピアノを、7歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高校音楽科を経て、桐朋学園音楽学部ヴァイオリン科を卒業。その後、同大学研究科に進む。この間、ヴァイオリンを江藤俊哉、広瀬悦子の各氏に師事。1980年、東京文化会館主催「新進音楽家デビューコンサート」に合格しソリストとしてデビューした後、1992年まで毎年リサイタルを開催。1988年ヴィオッティ国際コンクール第3位入賞。1990年にはフランス、プラード音楽祭にてジャンジャック・カントロフに師事し高い評価を得、音楽祭の室内楽コンサートに出演。同年エンニオポリノコンクールで優勝。1990年より2年間イタリアのミラノに留学し、フェリーチェ・クザーノのもと更に研鑽を積む。1992年ストレーザ国際コンクールの室内楽(二重奏)の部で優勝。ガラコンサートでのモーツァルトの演奏は、好評を博した。1993年帰国後、2001年まで東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者を務める。現在独立し、ソロ、室内楽の演奏活動に力を入れる傍ら、長年の経験を生かし在京オーケストラのコンサートミストレス、客演首席として多方面で活躍中。近年ではスウェーデンでの演奏活動にも積極的に取り組んでいる。また「良い音楽を身近で」という目的で、「コリーナ・ヴェルデ・アンサンブル」を主宰している。彩カルテットメンバー、オラトリオ・シンフォニカ JAPAN コンサートミストレス。東京ニューシティ管弦楽団ゲストコンサートマスター。

藪内 俊弥 Toshiya Yabuuchi (バス)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程独唱科修了。吉江忠男、多々羅迪夫各氏に師事。第12回日仏声楽コンクール第2位入賞。第51回朝日新聞社主催「芸大メサイア」バスソリストでデビュー。その後『第九』(小林研一郎指揮)、モーツァルト、フォーレ、ドニゼッティ、スッペ『レクイエム』、デュルフレ『レクイエム』(飯守泰次郎指揮、東京シティアフィル)、バッハ『ヨハネ受難曲』『マタイ受難曲』『ロ短調ミサ』『教会カンタータ』等のソリストを務める。オペラでは芸大大学院定期オペラ公演モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』でデビュー以来、東京室内歌劇場公演、新国立劇場公演など多数のオペラに出演。2011年にはルーマニア国立コンスタンツァ歌劇場に於いて、『ランメルモールのルチア』エンリーコ役でヨーロッパデビューを果たした。各地でドイツ歌曲を中心としたリサイタルも開催している。



エリック・ウィリアムス Erik Williams (チェロ)

スウェーデン系カナダ人として音楽一家に生まれ、カナダのモントリオールで音楽の初等教育を受ける。1995年、全額奨学金給付を得て、ストックホルムのロイヤル・アカデミー音楽大学にてオラ・カールソン氏に師事。同大学、大学院を首席で修了。その後、再び全額奨学金給付を得てロンドンのギルドホール音楽院に進みデイヴィッド・タケノ氏に師事。2002年同コース修了以降、ストックホルム、モントリオールなどにおいてめざましい活躍を続け、カナダ放送協会の協力によりモントリオール交響楽団と共演。スウェーデン放送交響楽団ではソリストも務め、又室内楽演奏が放映される。07年秋よりダニエル・ハーディング指揮のもとスウェーデン放送交響楽団のメンバーとして活躍。スウェーデン放送交響楽団とドヴォルザークのチェロ協奏曲の共演などソロ活動を続けている。



臼木 麻弥 Maya Usuki (ヴィオラ)

さいたま市出身。10歳よりヴァイオリンを始め15歳でヴィオラに転向。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京芸術大学を経て同大学院修士課程を修了。在学中、室内楽定期演奏会や新卒業生演奏会等に出演。今までにヴァイオリンを守岡輝、浅井千裕、沢和樹、ヴィオラを故浅妻文樹、川崎和憲各氏に、室内楽を田中千香士、岡山潔、山口裕之の各氏に師事。在学中より結成された Alberi String Quartet は現在も活動を続けており、ベートーヴェンの室内楽作品全曲演奏会(90曲以上)を7年越しで完奏するなどテーマ性を持った活動を展開している。02年から07年までは安田弦楽四重奏団のヴィオラ奏者としても活動。現在、Alberi String Quartet、さくら弦楽四重奏団、彩弦楽四重奏団のメンバー。室内楽をはじめ、国内オーケストラのゲスト首席奏者等を務める。



依田 泰幸 Yasuyuki Yoda (トランペット)

武蔵野音楽大学卒業。(社)東京ニューシティ管弦楽団団員。Ensemble Vita、Trailblazers 10 Piece Brass 各メンバー。トランペットを戸部豊、佛坂咲千生、西村明浩、松本浩太郎の各氏に師事。



望月ゆり子 Yuriko Mochizuki (ヴァイオリン)

2歳より母(中島ゆみ子)の手ほどきによりヴァイオリンを始める。今までにヴァイオリンを木野雅之、エドアルド・オケーン、ヘンリック・コヴァルスキーに、室内楽をエリック・ウィリアムス、山口裕之の各氏に師事。第16回大阪国際音楽コンクール、第4回デザインK音楽コンクール入選。現在桐朋女子高等学校音楽科三学年在学中。



小林 牧子 Makiko Kobayashi (オルガン)

武蔵野音楽大学卒業。ピアノを水本雄三氏に師事。多くの合唱団のピアニストを務め、チェンバロ、オルガン奏者としても活動。スロバキアフィル、新日本フィルなどと共演、ラフマニノフ『ピアノコンチェルト第2番』、ベートーヴェン『合唱幻想曲』(ピアノ独奏)、サン＝サーンス『交響曲第3番』(オルガン独奏)を演奏。海外公演でも現地オーケストラと共演。チョン・ミョンフン、G.ベルティーニ、E.インバル等のピアノ伴奏を務めた。



郡司 博 Hiroshi Gunji (指揮)

指揮を山田一雄、ハンス・レーヴライン両氏に師事。朝比奈隆、若杉弘等内外一級の指揮者と共演し、プロオーケストラの代表的な演奏会でも活躍。いずれもその指導力は高く評価されている。バッハを中心とするオラトリオ指揮者としても活躍。ザルツブルグ大聖堂より5回にわたり指揮者として招聘された。ダブリンにて『メサイア』の指揮、ソウルナショナルアーツセンターにて『第九』を指揮。認定NPO法人おんがくの共同作業場の代表として、13年に亘り「地雷で傷ついたアフガニスタンの子供たちに車椅子を贈るベネフィットコンサート」を続け、東日本大震災以降、音楽復興支援プロジェクトを立ち上げる等、精力的に活動している。

